看護協会インターンシップで高校生９人体験

茨城県看護協会主催の高校生を対象とした「１日看護体験」が８月１日､城西病院で行われました。体験には、結城一、古河二、古河三、下館一、下館二の６校から１、２、３年の生徒９人が参加しました。

午前中は病院内を見学。手術室や透析センター、総合健診センター、救急処置室、ヘリポートなどを見学しました。手術室では､手術台に乗って無影灯を照らしたり、放射線防護服を着るなど、ふだん経験できない体験をしました。中には、ドクターヘリを描いたドラマを見て看護師を志望する生徒もいて、ヘリポートに行き、城西病院でヘリが活躍している様子を熱心に聴いていました。

午後からは、内科系病棟、外科系病棟、包括ケア病棟の３カ所に分かれて、体験。病棟では、聴診器の体験、血圧測定、血糖値測定、車いす体験、注射の模擬体験、酸素マスク体験、ベッド移乗体験と盛りだくさんの体験をしました。

包括ケア病棟では、患者さまをMRI検査室に連れて行って、検査の様子を見学したり、リハビリをしている様子を見学しました。

生徒たちは「病院のいろんな場所見ることができてよかった。」「いっぱい体験することができて勉強になりました」などと話していました。３年生は看護学校への進学を目指して勉強しているといい、生徒たちは、看護師への夢を再認識していました。

©Tasseido group